

早い復興を祈って

第2回ひの歌謡・演芸大会



熱いステージを披露する出演者



シイタケをまちの特産に

しいたけマン養成講座



シイタケについて知ろうと熱心な参加者

東日本大震災から1年にあたる3月11日、早い復興を願って、震災復興チャリティー第2回ひの歌謡・演芸大会（ひの歌謡・演芸友の会主催）が、町文化センターで開かれました。地元、日野町をはじめ、県西部から歌や踊りの愛好家らが出演し、自慢ののどや舞を披露しました。会場は多くの来場者で満席となり、立ち見が出るほどの大盛況。歌に合わせて手拍子を打ちながら歓声をあげました。

3月12日、同会代表の松村譲さんが役場を訪れ、集まった入場料の一部などの義援金、総額6万3千円を東日本大震災被災地にと景山町長に手渡しました。

日野町のシイタケ産業の復活を目指して活動している「しいたけマンの会」（久代宏一会長）が、3月17日、町公民館を会場にしいたけマン養成講座を開きました。これは、毎年度全3回講座で開催している養成講座の最終回。

この日はシイタケ産業にかかわる関係者ら16人が参加。日本きのこセンター菌茸研究所の長谷部公三郎さんによる「シイタケはなぜ健康に良いのか」と題した講演会や、しいたけハンバーグやしいたけステーキを作る健康シイタケ料理教室に取り組みました。午後からは山に入り、ほだ場の管理法の実習など充実した1日となりました。

ぜひ、町で展覧会を

木山義喬さんの作品寄贈される



保存状態の良い木山さんの風刺画

感謝の気持ちを曲に乗せて

日野中吹奏楽部コンサート



感謝を込めて演奏する

世界的に有名な洋画家・漫画家で、根雨出身の故木山義喬さんの遺した作品を、町の文化振興などに役立ててほしいと、3月16日、木山義喬さんの子孫にあたる木山賢一さん（根雨）から町へ寄贈されました。

今回寄贈されたのは、自宅に保存されていた油絵や風刺画、デッサンなど38点。木山さんは「風刺画はよそにはなく、自宅に残っていました。作品は展覧会などを開き、活用してほしいです」と今後の文化振興に期待しました。

景山町長は「貴重な作品を寄贈いただき、うれしい。適切に管理し、多くの町民の皆さんに見ていただきたい」と喜びました。

卒業する3年生と、日ごろから応援してもらっている地域の人たちや保護者に感謝を込め、日野中学校吹奏楽部による「桜薫るコンサート」が、3月18日、町文化センターで開かれ、多くの町民が美しくも迫力あるステージを楽しみました。

コンサートは生徒たちが進行を行うアットホームなもの。まず、1、2年生が3曲を披露。客席からは大きな拍手が送られました。3年生にとってはこの舞台が最後のステージということ、気持ちの入った演奏になりました。

見事な演奏の数々に、観客はこれからの活躍を期待しました。



オシドリグループが「よく来たね」とお出迎え

オシドリ天使が やってきた！

東京の小学生がオシドリ交流

オシドリグループと交流している東京都杉並区の小学生在、3月26日、春休みを利用して日野町を訪れました。

この交流は、舟場出身で同区の小学校教諭、佐々木幹夫さんが平成8年から続けていけるもので、現在は、同区立杉並第一小学校の子どもたちが交流を行っている

ます。

今回は、6人が参加し、その中で、4人が昨年の夏にも来町した子どもたち。佐々木さんは「再来した子どもたちは、皆さんのやさしさが心に残っているようです。年賀状に『またおいで』と書いていただき、もう一度行きたい気持ちが強くなり、来させてもらいました」と微笑しました。

根雨駅に降り立った子どもたちは「夏に体験できなかったことが楽しみです。オシドリ観察もしたい」と元気よくあいさつし、4日間の交流が始まりました。出迎えた同グループの森田順子さんは「よう来てごしなつた。だんだん。いつも、ドングリを送ってくれてありがとう」と温かく迎えました。

早速、根雨のまち並みや歴史民俗資料館などを見学した子どもたち。舟場にある佐々木さんの実家に滞在してオシドリ観察などを体験し、3月29日に、同グループに見送られ、日野町をあとにしました。

集落の共同作業のお手伝い ジゲの防人隊が活動



作業中も交流を深めるジゲの防人隊

消防力を上げていきたい

町消防団出初式



見事な放水を見せる消防団

集落の共同作業のお手伝いを続けているボランティアグループ「ジゲの防人隊」が、3月31日、下上菅地区で井手さらい作業に汗を流しました。

雨が降る中、地元や学生人材バンクなど総勢19人が参加し、集落内の井手さらいや草刈り作業を行いました。参加した人は「集落内の水路にたくさんの土砂がたまっているのが驚いた。少しでも力になればうれしい」と話し、地元の人は「取っても取っても土砂がたまります。今日は助かった」と安どの表情を浮かべました。

問合せは、防人隊事務局梅林敏彦さん（電話080・1637・7982）まで。

町消防団（藤原洋一団長）の出初式が、4月1日、根雨小学校体育館で行われました。

式典では、2人の新入団員が任命されたほか、永年勤続など各表彰のあと、景山町長が「1月に家屋火災が発生したが、迅速な消火活動で被害は最小限に抑えられた。これも訓練のたまもの。今後も安心・安全なまちづくりを尽力していきたい」とあいさつ。また、藤原団長は「大地震発生が予測されている。火災だけでなく大きな自然災害にも対応する消防力が必要になる」と決意を述べました。

式典後は野田橋から一斉放水を行いました。